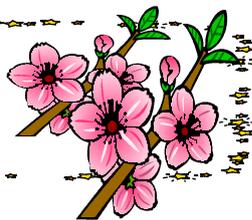


# 中原通信



文責 増永 善久



## もうすぐ春です

先日の授業参観・PTA総会・学年懇談会はお世話になりました。前日も申しましたが、「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」という言葉があるように、早くも2月が終わり、3月に入りました。来年度に向けた1年の振り返りなど学校でも何かと落ち着かない日々が過ぎていきます。ただ、校舎の外を見ると春の気配が感じられるようになってきました。校庭でも鮮やかな新緑が見られるようになり、冬のモノクロ(単色)の世界から少しずつ春の色を帯びた世界に変わってきています。何となく心が軽やかになる季節を迎えようとしています。ただ、春は別れの季節でもあります。3月23日(月)の卒業式の準備が刻々と進んでいます。

## ◇新入児童体験入学

学校でのさまざまな活動は、6年生から5年生が中心となっています。最近の5年生には、慣れない中、周りとは協力し主体的に学校の活動を進めようとする姿が見られます。そのような中、先日、来年度の新入児童を迎えて「体験入学」がありました。当日の5年生は、緊張の中、新1年生に対し、ていねいに接し、「なかよしタイム(新入児童と全校児童の交流会)」をうまく運営していました。来年度に向け、これからも5年生を中心に児童全員でさまざまな学校の活動を創りあげてほしいものです。また、交流会が終わったあとは、来年度の登校班の編成を行い、新入児童も一緒に、登校班で下校しました。4月の入学が楽しみです。



5年生が運営した交流会の様子

## ◇卒業に向けて

3月4日には、学校の近所で茶道教室をされている方のご協力のもと、恒例の「お茶会」が行われ、卒業を迎える6年生が茶道を体験しました。慣れない作法に緊張している6年生もいましたが、いい思い出になった会でした。本当に、地域から子どもたちは大切にされていると再確認しました。

また、3月6日には、「6年生を送る会」が行われました。5年生の進行のもと行われたレクリエーションの後、下級生が6年生に向け、6年生の名前を使ったあいうえお作文でメッセージを送りました。卒業式まで、あと2週間になりました。6年生と過ごす日々が少なくなり、寂しい気持ちが高まってきました。



6年生を送る会より

## ※WBCより(余談です)

野球のWBCが始まりました。野球好きのわたしにとっても、わくわくする日が始まりました。侍JAPANは、1次ラウンドを1位で通過し、見事、準々決勝進出を決めました。ところで、1次ラウンドが始まる前に、侍JAPANの中心選手である大谷選手が大事なことは、「他の選手とコミュニケーションをとること」とインタビューに答えていました。勝つためには、お互いがコミュニケーションをしっかりと取ることが大事なのでしょうか。コミュニケーションがとれると言うことは、いい人間関係をチーム内でできずくことではないでしょうか。3月6日に行われた『6年生を送る会』で、中学校に入学し新しい仲間が増える6年生に、中学校でもよりよい人間関係をきずいてほしいと思い、以前、本で読んだ人間関係を悪くする気をつけたい3つの習慣の話をしました。その習慣とは「(相手の言動などを)批判する、(失敗など)を責める」「文句を言う」「不機嫌に(ふてくされて)相手に言う」の3つです。子どもたちは、これから先の長い人生でいろんな人と出会うと思います。そこでは、さまざまな人間関係も出てくるでしょう。その中で、自分の人生を豊かなものにするため、できるだけ他とよりよい人間関係をきずいてほしいと思います。その他に、人間関係を悪くする気をつけたい習慣には「ガミガミ言う」「脅す」「上から目線で(高圧的に)言う」「罰する」「目先の褒美でつる」などが書かれていました。

